

報道資料 12

平成26年9月11日

報道機関資料

生涯学習課長



さんじょう遺跡物語展示会 先史時代の文化交流 ～火炎土器の時代～

下田郷は、八十里越で信濃川火焰街道と会津地方とを結ぶ縄文文化の交流の地であり、両地域から出土した縄文時代中期の火炎土器の形・文様の比較などを通して、古来から八十里越を介して行われてきた、五十嵐川流域と会津地方との交流の歴史をひも解きます。

- 1 とき 9月20日(土)～10月19日(日)
- 2 ところ 諸橋轍次記念館 多目的ホール
- 3 主な展示遺跡 長野遺跡(長野)、吉野屋遺跡(吉野屋)、館ノ川遺跡・深沢遺跡(福島県只見町)、寺岡遺跡(福島県金山町)、大石田居平遺跡(福島県三島町)など
- 4 展示説明
 - (1) 1回目 9月28日(日) 午後2時～(1時間程度)
 - (2) 2回目 10月12日(日) 午後2時～(1時間程度)
- 5 ワークショップ
 - (1) 本物のアンギンを編む: 10月12日(日) 午前10時～午後2時
 - (2) 火焰型土器の鶏頭冠を作る: 10月19日(日) 午前10時～午後2時
- 6 その他 入場無料

※「火炎土器」とは、火焰型土器と王冠型土器などを含めた火炎土器様式を表す言葉です。



火焰型土器

写真: 左 長野遺跡出土、
中央・右 吉野屋遺跡出土

担当: 生涯学習課 文化財係 勝山
電話: 0256-46-5205